

有明エナジー株式会社による公共施設・民間企業への供給が始まっています

昨年9月から、従来の電力会社の電気料金よりコスト削減が可能な施設を対象に、市役所や市民病院など市内26の公共施設へ電力供給を開始しました。供給を行う公共施設の数は増加中です。現在は市内の民間企業に対しても電力を供給しています。
※現在、一般家庭への電力供給は行っていません。



FOCUS
ここに注目！



有明エナジー株式会社とは？

市内に本社を置く地域新電力会社。平成29年12月、三井物産株式会社、株式会社グローバルエンジニアリングの2者が50%ずつ出資し、設立されました。収益の一部は市の活性化の取り組みに還元されます。

●電力の地産地消イメージ図



電力の地産地消 — 利用者の声 —



医療法人成風舎西原クリニック
【企業概要】
◆荒尾市西原町1-4-24
◆診療所(内科・外科・消化器内科・泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科)

電力の供給を有明エナジー株式会社に変更した理由は何ですか？

入院施設があるため、多少の不安はありましたが、荒尾市が電力の地産地消を推進していることを知り、地域に貢献できる企業を選択したいと考えたからです。地域の基幹病院である市民病院での導入が、今回の移行への決断を後押ししてくれました。電気料金が安くなり、コストが削減できました。

電力の地産地消の取り組みや有明エナジー株式会社へ期待することは？

電力の面でも地産地消ができることは、嬉しいことだと思います。これが荒尾市全域に広がり、より活性化することを期待します。

有限会社 ユー・アイ技研
【企業概要】
◆荒尾市水野1725-18
◆製造業(金属精密板金加工)



電力の供給を有明エナジー株式会社に変更した理由は何ですか？

電気料金の見直しもですが、何より電力の『地産地消』につなげることで、地域に貢献できるのではと考えました。

新電力に変更して何か変化はありましたか？

コストの見直しを図れたことが一番ですね。電力の地産地消の取り組みや有明エナジー株式会社へ期待することは？

地域の企業さんと連携して、より住みよいまちづくりに貢献していただきたいです。

電力供給以外での取り組みでも、地域の一企業として弊社にできることがあれば協力していきたいと思っています。

荒尾市は電力の地産地消を推進していきます



圃政策企画課総合政策室
☎63-1273



◀四ツ山にある大規模な太陽光発電施設



▶再生利用可能エネルギー施設

荒尾市内には大規模な太陽光発電施設やバイオマス発電施設をはじめ、再生利用可能エネルギー施設の立地が進み、エネルギーの地産地消を図るための環境が整っています。市内で発電された電力を市内の公共施設や民間企業に供給することで、地域の資金(電気料金)を地域で循環することにもつながります。

「炭鉱のまち」から、「エネルギーのまち」へ その第一歩を踏み出しました!



新たな「エネルギーのまち」へ向けての協定を締結



近代化を支えたエネルギー資源である石炭で発展した「炭鉱のまち」から、新しい「エネルギーのまち」への転換を目指しています。

そのための一歩として、三井物産株式会社、株式会社グローバルエンジニアリングの2者と「地域エネルギーの有効活用等を中心としたまちづくりに関する連携協定」を締結し、市の活性化に資するさまざまな取り組みを推進しています。

今後、電力の地産地消のほか、協定の連携事項である公共インフラの効率化の促進をはじめ、さまざまな取り組みを展開していきます。

協定での連携事項

- ①市所有の公共施設、市内企業等を需要者とする電力の地産地消に関すること。
- ②次世代自動車等の電動インフラの整備に関すること。
- ③CO2削減等の環境に配慮した社会の実現に関すること。
- ④市内の遊休施設等の有効的な利活用に関すること。
- ⑤公共インフラの効率化の促進に関すること。
- ⑥IT関連の教育機会の創出に関すること。
- ⑦その他地域社会に関連するエネルギーの有効かつ適切な利活用、地域社会の活性化等に関すること。

FOCUS
ここに注目!



▲九州初の取り組みとなる配車アプリやAIなどを活用した相乗りタクシーの実証試験も実施しました。